

(社) 日本建築学会 近畿支部  
2019 年度第 2 回空気環境部会議事録 (案)

日時：2019 年 8 月 6 日 (火) 17:30-19:50

場所：グランフロント大阪 大阪大学工学研究科オープンイノベーションオフィス

出席者：東 (実) (主査), 袁, 小林, 近藤, 崔, 近本, 檜崎, 萬羽, 松尾 (幹事), 三石, 光野, 李,  
竹村 (記録) (敬称略)

資料：・議事次第	資料 2-0
・第 1 回空気環境部会議事録 (案)	資料 2-1
・2019 年度以前の大会における研協・研懇履歴	資料 2-2
・CO2 濃度変化及び温熱環境が作業性と生理心理量に及ぼす影響	資料 2-3

議事：

1. 前回議事録の確認

修正等は特になかった。

2. 話題提供

近本委員から CO2・温熱環境と作業性・心理生理量の関係と渦流を用いた空調システム提案に関するご研究について紹介頂いた。CO2 濃度環境調製には純ガスか人体由来か、個人差をどのように考えるか、知的生産性の測定法にはどのような手法があるか、知的生産性の意味するものとは何か、渦流実験の詳細などが質疑・議論された。

3. 2020 年度大会の研究集会テーマ案について

特に提案できることは挙げなかった。

4. 今年度のシンポジウムについて

- ・知的生産性を軸にすすめることになり、演者の候補として大宮氏 (竹中工務店)、長續氏 (大林組)、崔先生、竹村に絞られた。
- ・タイトルは「建築空間の知的生産性を考える」で進めることになった。
- ・日程は当日参加者の予定を確認の上、3 月 11, 16, 26, 27 日を候補日として演者候補者と調整して決定することにした。
- ・知的生産性の測定手法の勉強として、次々回 (11/8 建技協シンポではない部会) に崔先生から文献紹介を頂くことになった。

5. 次回日程

今回は 11/8 の建技協シンポを部会に代える。ただし、次々回にあたる通常部会を 11~12 月の間を目途に主査幹事で日程検討するが、それが 11/8 以前になった場合には次回部会は通常部会となる。

次回通常部会予定内容：知的生産性の測定手法の文献紹介 (崔先生)、シンポ発表内容紹介 (竹村)

以上